

校長室だより

国立第七小学校 校長 森田弘文
平成25年4月23日 NO.4

ありがとうございました（離任式報告）

4月19日（金）5時間目、体育館で転出された教職員の方々とお別れの会・離任式がありました。お忙しい中、6人の先生方が出席されました。それぞれの代表の児童達がお別れの手紙を読みあげ、その後各先生方からの挨拶をいただきました。子ども達が心を込めて書いた手紙には、お世話になった先生方との思い出や感謝の言葉が綴られていました。離任された先生方からは、国立七小の子ども達の良さや魅力がたくさん語られました。離任された先生方からの優しいお話ぶりや、その姿を見つめる子ども達のにっこりとした表情から、ほのぼのとした国立七小のあたたかさを感じました。その後、皆で校歌を歌い、全校児童で花道をつくりお見送りをしました。

心の琴線にふれるこのような行事はこれからも大切にしていきたいと思いました。また、この日ご都合で出席できなかった教職員の方々には、学校長が、後日子ども達のお手紙をお渡しします。詳細はHPに掲載されておりますので、そちらもぜひご覧下さい。



委員会・委員長紹介

4月22日（月）朝会時に、体育館で各委員会の活動の様子と委員長の紹介がありました。委員会活動は、文部科学省学習指導要領に、「学校内の自分たちの仕事を分担処理するための活動である。主として高学年の全児童が、いくつかの委員会に分かれて、自分たちの学校生活を向上発展させ、より豊かにしていくために、児童の発意を生かし、創意工夫して実際の活動を分担して行うものである。」と定義づけられています。

朝会時に、委員長一人一人から、委員会の様子や活動に向けての積極的な姿勢や、決意を述べるその姿には本当に感心させられました。国立七小の頼もしい6年生の姿をまたまた見ることができ、本当に嬉しく思いました。国立七小の顔として、今後も様々な所で活躍する6年生に大いに期待しています。

委員会の仕事は、学校全体に関わる責任の重い仕事です。全員が、自覚をもってしっかりと活動できるように指導します。また、働くことの楽しさも感じられるように、充実感を得られるように、励ましていきます。
6年生担任より（学級だより抜粋）

